

供出するために市内の寺院から集められた鐘



ひろったラッパはどうなった?

終戦70周年記念特別展

～戦争の時代を生きた童話作家～

展示期間

2015年7月18日(土)～10月25日(日)

■開館時間……………9時30分～17時30分

■休館日……………7/21(火)・27(日)・8/3(月)・10(日)・11(火)・17(月)・24(日)・31(日)
9/7(日)・8(火)・14(日)・10/5(月)・13(火)・14(水)・19(日)

■観覧料……………常設展観覧料(高校生以上210円)で特別展もご覧いただけます

ミュージアムトーク
学芸員が特別展の解説をします
7月18日(土)・30日(木)・
8月2日(日)・13日(木)・
9月21日(月)祝・26日(土)・
10月4日(日)
13時30分～14時
特別展会場にお集まり下さい。

朗読会
「南吉・平和への願い」
8月1日(土)
10時30分～11時30分
作品：「張紅倫」
「ひろったラッパ」
「うた時計」
朗読：泉の会
解説：学芸員
会場：図書室

みんなで議論
「南吉さん!それでいいの?」
～問題あり?の戦争関連作品を読む～
8月9日(日)「ひろったラッパ」
「張紅倫」
8月23日(日)「ごんごろ鐘」
9月6日(日)「耳」
時間：10時～12時
申込み：7月11日(日)から
電話または窓口へ
定員：30名(申込順)
受講料：300円(回数に関係なく)



新美南吉記念館

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1
TEL (0569)26-4888 FAX (0569)26-4889
【交通】名鉄河和線/半田1駅より西へ徒歩20分
知多半島道路/半田中央ICより東へ5分



矢勝川堤の彼岸花(9月下旬～10月上旬)
「ごんぎつね」の舞台の川に300万本の
彼岸花が咲きます。
※開花期のイベント・駐車場規制については
ホームページ等で確認ください。

ひろったラッパはどうなった?

終戦70周年記念特別展

～戦争の時代を生きた童話作家～

2015年
7月18日(土)
～10月25日(日)

今年は、国内外で多大な犠牲をはらった太平洋戦争の終戦から、ちょうど70年を迎えます。

新美南吉は、父親はじめ大人たちから日露戦争の話聞いて育ち、満州事変の年に「ごん狐」を書き、安城高等女学校教諭時代には日中戦争の激化、太平洋戦争の開戦と、日々戦争を肌身に感じながら生活していました。そのため、彼の生涯はもちろん、作品を語る上でも戦争の影響を無視することはできません。

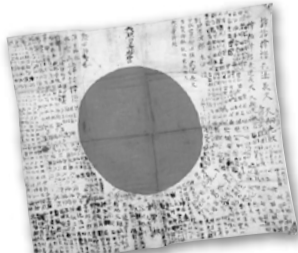
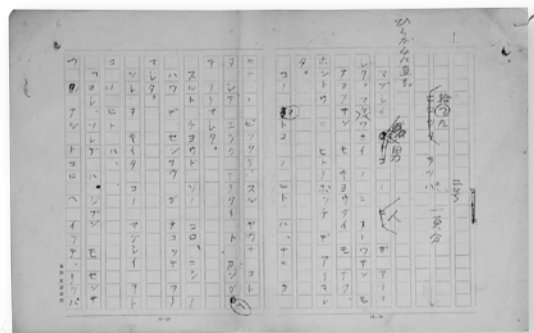
1913年(大正2)に生まれ、東京外国語学校で英文学を学んだ南吉は、大正デモクラシーの洗礼と西洋的な自由思想の影響を受けています。学生時代には、「ヒロッタ ラッパ」という反戦的な童話も書いています。

そんな南吉が、戦争へと突き進む激動の時代に何を考え、どうふるまったのか。教師として、作家として、戦争と向き合い、葛藤する一人の青年の姿を追います。

- 第1章 「張紅倫」と日露戦争
- 第2章 「ヒロッタ ラッパ」と軍靴の音
- 第3章 青年教師が見た銃後の暮らし
・弟、益吉の入営
- 第4章 南吉の戦争観
- 第5章 戦時下の南吉作品
・「ごんごろ鐘」
・軍隊を風刺した「うた時計」
・南吉の戦争詩
- 第6章 「アロハオエ」に込めたもの



南吉の戦争詩が掲載された『少国民のための大東亜戦争詩』(1944年)



われわれ教員は喇叭手に似てゐる。政府がA曲を吹けといへば"いやでもA曲を、B曲を吹けといへば"嫌ひでもB曲を吹かねばならぬ。分る政府がA曲をといつてゐるとき、自分の好きふ曲を吹かして乙曲を一人吹いたが、政府は僅ちどのやりに非国民呼ばりするがらう。ところが吉田松蔭だ。彼は自分の好きふ曲を勝手に吹いたのである。そのために生命をたのぞか。

「われわれ教員は喇叭手に似てゐる。政府がA曲を吹けといへば"いやでもA曲を、B曲を吹けといへば嫌ひでもB曲を吹かねばならぬ。」(見聞録)

供出前に取り外された光蓮寺の鐘のいぼ

〈会期中の行事〉

- 新美南吉生誕祭**
7月30日(土)～8月2日(日)
・「南吉さんの日」(誕生日)式典 7月30日(土)
・宵祭り(盆踊り・お囃子・出店) 8月1日(日)
・人形劇、ウナギのつかみ取りなど 8月2日(日)
※期間中は入館無料

- ごんの秋まつり**
9月19日(土)～10月4日(日) ※予定
・矢勝川に咲く300万本の彼岸花と各種行事

新美南吉記念館

TEL0569-26-4888

詳しくはホームページでご確認ください。

新美南吉記念館 検索

